

礼拝プログラム ※注の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヘブ 12:16-17…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 180番
- \*交読文 …………… 39番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 330番
- メッセージ …………… エサウ - 一杯の煮物で祝福の権利を売った者(創世記 25:23-34)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …………… 399番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

すべての人との平和を追い求め、また、聖められることを追い求めなさい。  
 聖くなければ、だれも主を見ることができません。そのためには、\_\_\_\_\_はよく監督して、だれも神の恵みから落ちる者がないように、また、苦い根が芽を出して悩ましたり、これによって多くの人が汚されたりすることのないように、また、不品行の者や、一杯の食物と引き替えに自分のものであった長子の権利を売ったエサウのような俗悪な者がないようにしなさい。  
 \_\_\_\_\_が知っているとおおり、彼は後になって祝福を相続したいと思ったが、退けられました。涙を流して求めても、彼には心を変えてもらう余地がありませんでした。(ヘブル 12:14-17)

今回より、再び聖書の登場人物をテーマに見ていきたい。今回はアブラハムの子イサクの長男、エサウについてである。彼は、神に祝福された家系の長子としての祝福を受け継ぐはずだったのに、取り去られてしまった。また彼の子孫は、一時はエドム人として栄えたのに、今はもう滅んでしまっている。それに引き換え、彼の弟ヤコブは、後に神から「イスラエル」と名付けられ、今なおイスラエル民族は栄えている。この違いは一体何だろう。どういう人が祝福を勝ち取り、どういう人は、祝福が取り去られてしまうのだろうか。

『エサウは巧みな狩猟者となり、野の人となった。』(27 節)  
 創世記で「巧みな獵師」は、繪じて、主の目には悪い者である。(10:9 のニムロデ、21:20 のイシュマエル)  
 彼らは、自分の力強さに頼り、思うままに好きな所へ出て行って、平和に暮らしている他の生物を狩って 食いものにし、欲するままに力で周囲を支配する者であり、それは、神に喜ばれない歩み方である。  
 最近、肉食系・草食系の仕分けで、草食系を蔑む雰囲気もあるが、主は、肉食系をこそ蔑まれるのだ。  
 「ヤコブは穏やかな人で天幕の周りで働くのを常とした。」(27 節) この「穏やか(タム)」という語は、「正しい」「全き」「無垢」とも訳せる、義人ヨブの品性を表す語である。(ヨブ記 1:1)  
 彼はエサウと違って、好き勝手な所に出歩かず、父の天幕の周りで父の羊の群れをしっかりと見守っていた。  
父から任された羊をしっかりと見守る事こそ、主に祝福される性質だ。主の働き人は、主から任された羊を放置し好き勝手する者になってはならず、しっかりと羊達の面倒を見るべきだ。父イサクがエサウを愛したのは、彼が狩って来る獲物の肉を好んだからだが、リベカは、主の祝福の約束があったヤコブの方を愛した。多くの人は、世の中をうまく渡り合って腕づくで食を確保できる狩人型人間になりたいと願い、その人が好かれるが、兎と亀の競争のように、後で追い抜かれてしまう時が来る。主の祝福の約束がある者によって。

彼はある時、獲物を追いかける事に夢中になりすぎて、死にそうになるまで疲れ果てて帰ってきた。  
 その時、ヤコブはレンズ豆の煮物を煮ていた。『エサウはヤコブに言った、「わたしは飢え疲れた。お願いだ。赤いもの(アダム)、その赤いものをわたしに食べさせてくれ」。彼が名をエドムと呼ばれたのはこのためである。ヤコブは言った、「まずあなたの長子の特権をわたしに売りなさい。』(30-31 節)  
 エサウとしては、いきなり突拍子もない事を要求されたように聞こえたかも知れない。しかしヤコブは、いつも「長子の特権」を狙っていたのだ。母の胎にいた時から兄のかかたとを掴みながら出て来た程に、いつも、アブラハムの家系として祝福を受け継ぐ特権を自分のものにしようと、虎視眈々と狙っていたのだ。  
 しかし、生まれながらに長子として祝福を受け継げる者という座に安住していたエサウは、弟のそんな言葉はどうでも良く、ただ、目の前にあるその「赤いもの」が、今すぐ欲しかった。  
 『エサウは言った、「わたしは死にそうだ。長子の特権などわたしに何になろう」。ヤコブはまた言った、「まずわたしに誓いなさい」。彼は誓って長子の特権をヤコブに売った。…彼は飲み食いして、立ち去った。このようにしてエサウは長子の特権を軽んじた。』(32-34 節)  
 彼は、まさかこれで本当に長子の権利が売られてしまったとは思っていなかったかも知れない。しかし彼は確かに食べ、契約は成立してしまっただ。結局彼は、長子の特権を軽んじていたのである。

神は、生まれながらに人を差別されるのだろうか？少なくとも私達はそう考える必要は一切無い。なぜならキリストを主として信じる者には全て、天の御父から永遠の祝福を受け継げる特権が与えられるのだから。  
 それは、エサウの長子の特権と同じで、天の御父から全ての祝福を受け継ぐ事のできる、全特権である。キリストを主として信じるなら、私達も、その全特権にあずかれて、そこに差別も例外も無い。しかし信じないなら、エサウのように、自分の腕力で他を狩りながら生きて行く他はなく、その行き先は呪いと滅びである。  
 私達は、エサウのようにその特権を軽んじて売ってはならない。エサウの場合、祝福の権利と引換にしたものはレンズ豆の煮物で、イスカリオテのユダは銀貨30枚だったが、サタンは様々な形にそれを変えて私達に迫り、誘惑して来る。私達はそうした誘惑を断固、イエス・キリストの名によって拒否しなくてはならない。ヤコブのように、与えられた領分において、与えられたいのちをしっかりと養い育て、神の約束をいつも思い巡らし、祝福は貪欲に勝ち取って行く皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ/賛美 12:30~  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

#### 日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~  
火~木 夜の祈祷会 19:30~

#### 水曜礼拝

1部 13:00~  
2部 19:30~

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



YouTube